

編集委員が
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

綿屋さんに伺いました

Q どのようなお仕事ですか？

A 古くなったふとんの中の綿を再生し、布団を生まれ変わらせています。

Q 再生の方法は？

A まず古い綿を細かく裁断し、繊維を解きほぐします。その際、ゴミやホコリも取り除きます。少なくなった分の綿を足し、布団に詰めて完成です。四隅にしっかりと綿を詰める作業は、機械ではできない職人の技です。綿の配合もお客様の要望にあわせています。

Q 綿ふとんの魅力は何ですか？

A 吸湿性ととても優れています。人は寝ている間にコップ1杯ほどの汗をかくといわれていますので、ふとんに求められる重要な要素です。ただし、綿は天然素材ですので、こまめに天日に干すよう心がけて下さい。ふっくら、温かな綿の特徴を感じてもらえると思います。

Q 寝具も洋式化が進んでいるのでは？

A ベッドも増えていますが、化学繊維の安価な寝具も増えていきます。使い捨ての感覚になっているのかもしれませんが。綿ふとんは打ち直せば半永久的に使うことができます。日本に古くから伝わる生活の知恵だと思います。ぜひ一人でも多くの人に、ふかふかの綿ふとんの魅力を知っていただきたいですね。



ご協力：製綿業 鈴木幸平さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の議事録も見られます。

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/assembly/>



12月定例会の傍聴者は72人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定：2月27日午前9:30～

請願締め切り予定：2月17日午前10:00

上福岡公民館で開催します

議会広報常任委員会

委員長	田村 法子	副委員長	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	仙田 定	委員	伊藤 初美
委員	五十嵐正明		

表紙の題字を書いてくれた人

葦原中3年 榊原未唯さん

ふじみ野



私の好きなことは、字を書くことです。特に筆で書くのが大好きで、納得のいく字が書けたときがとてもうれしいです。

編集後記

街をイルミネーションが彩り、星空が一段と光を放つ12月。師走の慌ただしさを直に感じ取りながら、きらりと光る「輝き」を見つける定例会となりました。

本定例会では、家庭保育室等の運営補助や障害者就労支援施設の新設に伴う給付、長年の懸案だった元福岡地区の雨水対策など、暮らしに資する補正予算が組まれました。

また、元気・健康都市が宣言され、ふじみ野市多目的グラウンド条例も制定されました。一人一人がいつまでも「輝き」、元気・健康の好循環を創り出す体制が整いましたが、その「輝き」には、自己研鑽も必要です。

定例会閉会后、夜空に浮かぶオリオンは、眼下の喧騒に淀むことなく静かに光をまとっていきました。(小林憲人)